**概要：“LAH.C620: グローカル・ドクター日本Y2” のシラバス**

**講義の概要とねらい**

本科目のねらいは、履修者が先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して、修士課程、博士後期課程、他大学大学院学生等の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

本科目が養う履修者の力は、

(1) 社会的課題に専門性をもって取り組む力

(2) 多様なバックグラウンドを持つメンバーと共同研究をする力

(3) 研究者倫理・行動規範を理解し実践する力

(4) 知的交流の場を創造する力

である。そして、博士後期課程の学生を中心とした本学の人的ネットワークの創出と拡充を期待している。

**到達目標**

本科目の履修を通じて、学生は以下の能力を身に付ける。

1）学際的・先端的なテーマの研究を行う。

2）異なる学問分野、留学生とのグループワークにおいて英語等のコミュニケーションを行う。

3）学会のポスターセッション・スタイルで、グループワークの成果を発表する。

4）研究者としてのリーダーシップ・学際性・コミュニケーション力。

5) 社会的課題に専門性をもって取り組む。

6) 多様なバックグラウンドを持つメンバーと共同研究をする。

7) 研究者倫理・行動規範を理解し実践する。

8) 知的交流の場を創造する。

9) 博士後期課程の学生を中心とした本学の人的ネットワークの創出と拡充に貢献する。

**キーワード**

グループワーク、リーダーシップ、協働、研究者倫理、社会的課題

**学生が身につける力(ディグリー・ポリシー)**

✔ 専門力 ✔ 教養力 ✔ コミュニケーション力

✔ 展開力(探究力又は設定力) ✔ 展開力(実践力又は解決力)

**授業の進め方**

履修者数は「LAH.A542: グローカル日本Y2」と合わせて最大40名。履修制限をする場合がある（履修条件およびその他を参照）。

2022年2月22日から3月3日までの間の4日間に7回のセッションを行う（授業計画を参照）。

テーマ：ひとのためのデザイン：水の保全と利活用

セッションはすべてZoomを使用してオンラインで実施します。

**授業計画・課題**

|  |  |
| --- | --- |
| **授業計画** | **課題** |
| 第1日：2022年2月22日（火）・セッション1：09:00-11:00（午前）・セッション2：16:00-17:00第2日：2022年2月24日（木）・セッション3：09:00-11:00（午前）・セッション4：16:00-17:00第3日：2022年3月1日（火）・セッション5：09:00-11:00（午前）・セッション6：16:00-18:00第4日：2022年3月3日（木）・セッション7：09:00-11:00（午前） | 第1日“知的財産保護” の提出“TAPPのアイデア“チームのメンバーと連絡手段” の提出“TAPPのプレゼンテーションの概要” の提出第2日“チームの3つの行動規範” の提出“TPPTのアイデア” の提出“チームによるTPPTの取組課題” の提出“チームによるTPPTの作成のための役割とスケジュール” の提出“TPPTのチームと個人の成果” の提出第3日“ポスターとプレゼンテーションのコツ” の提出“チームによるTPPTのチーム発表の概要” の提出“チームによるTPPTのポスター” の提出第4日“査読シート” の提出“コメントシート” の提出“コメントに対するチームからの応答” の提出“改訂版の概要と改訂版のポスターの提出” の提出 |

**教科書**

なし

**参考書、講義資料等**

Kosoen（壺草苑）(日本語)

https://kosoen.com/ [最終確認日2021年1月20日]

Japanese Indigo Dyeing: “Aizome”

https://kosoen.com/eng [最終確認日2021年1月19日]

Hamura Intake Weir（羽村取水堰）(ウィキペディア日本語版)

https://ja.wikipedia.org/wiki/羽村取水堰 [最終確認日2021年1月20日]

Tamagawa Aueduct (ウィキペディア英語版)

https://en.wikipedia.org/wiki/Tamagawa\_Aqueduct [最終確認日2021年1月19日]

玉川上水（ウィキペディア日本語版）

https://ja.wikipedia.org/wiki/玉川上水 [最終確認日2021年1月20日]

“Basic concept of groundwater use in cities - Good relationships with groundwater” (日本語)

『都市における地下水利用の基本的考え方〔地下水と上手につき合うために〕』（日本語）（西垣誠監修、共生型地下水技術活用研究会編、（社）全国地質調査業協会連合会共生型地下水技術活用研究会発行、2007）https://www.zenchiren.or.jp/market/pdf/c080226.pdf [最終確認日2021年1月20日]

"Delicious water with 100% groundwater" (日本語), Akishima City, Latest Revision November 13, 2019

『地下水100％のおいしい水』、昭島市、2019.11.13更新

https://www.city.akishima.lg.jp/s108/010/050/20140904152016.html [最終確認日2021年1月20日]

“Marine Plastic Litter,” Ministry of Foreign Affairs of Japan

https://www.mofa.go.jp/ic/ge/page25e\_000309.html [最終確認日2021年1月19日]

**成績評価の基準及び方法**

すべてのセッションへの参加、課題、チームへの貢献、発表

**関連する科目**

LAH.A541 ： グローカル日本Y1

LAH.A542 ： グローカル日本Y2

LAH.C619 ： グローカル・ドクター日本Y1

**履修の条件(知識・技能・履修済科目等)**

別途応募様式を提出（書類選考あり）。

すべてのセッションに参加すること。

詳細は次のHPを参照。

http://www.ggs.shs.ens.titech.ac.jp/

**連絡先（メール、電話番号） ※”[at]”を”@”(半角)に変換してください。**

spring2022[at]ggs.shs.ens.titech.ac.jp

**オフィスアワー**

メールでアポイントメントを取ること。